

LAMP トイレブースシステム用金具 表示器付ラッチ錠ET-125T 取付説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

△ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ・商品は左右共用ですが、ラッチレバー、ラッチストッパー、およびストライクの取付方向は左右対称になります。
- ・シャワーブースなどの水回りでは使用できません。
- ・塩素が付着する環境（海岸付近・洗浄剤の拭き取り不足・換気不十分等）で使用すると錆が発生する可能性があります。
- ・取付ねじ、六角レンチは付属していません。手順2、手順3の推奨ねじの記述を参照し、用意してください

取付手順 (単位は全て mm) 組付けの際は十分気を付けて、ケガのないよう気を付けてください。

手順1 図1のように、ラッチの取付穴 (φ20の貫通穴1個所とφ8.5の貫通穴2個所) を扉の中央付近に開けてください。なお、ストライクの取付穴は手順3に従い、図2のような形状に加工してください。図3を参考にラッチとストライクの位置関係を確認してください。扉厚は13~20 mmのパネルを対象としています。

(左用・右用共通)

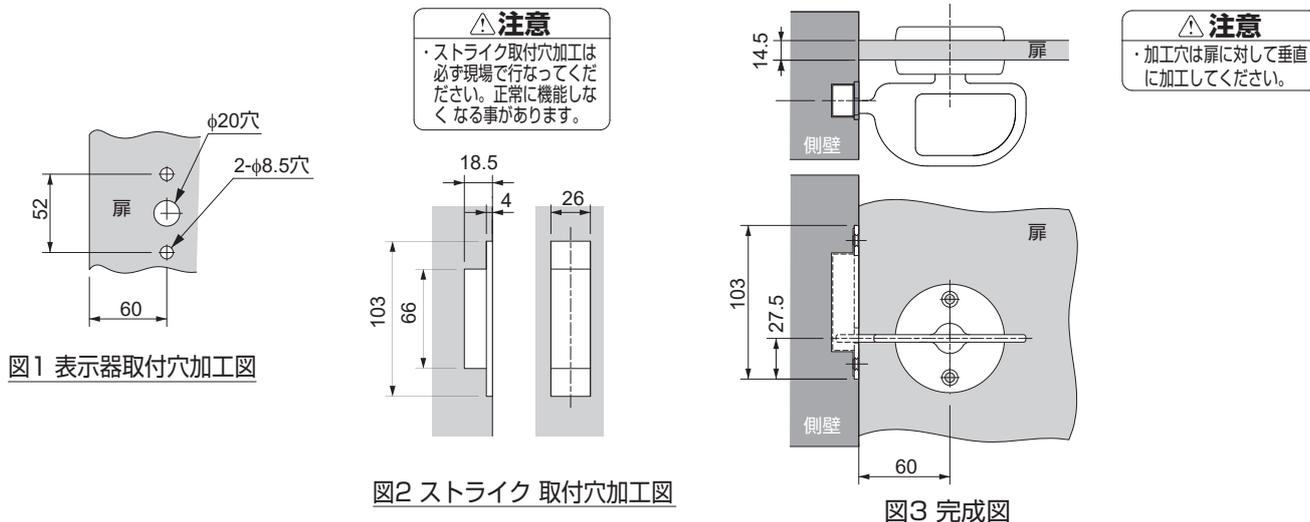


図1 表示器取付穴加工図

図2 ストライク 取付穴加工図

図3 完成図

手順2 図4のように、扉の外側に表示器、内側にラッチレバーを配置し、裏から取付ねじで固定してください。この時、図5の状態(ラッチレバーが水平状態)で、表示窓は赤色を表示していることを確認してください。違っている場合は、角芯を90°回転させ再度ラッチレバーに組込んでください。又、取付ねじは緩み止め効果のあるものを使用してください。※ラッチストッパーの取付けについては、右ページをご覧ください。

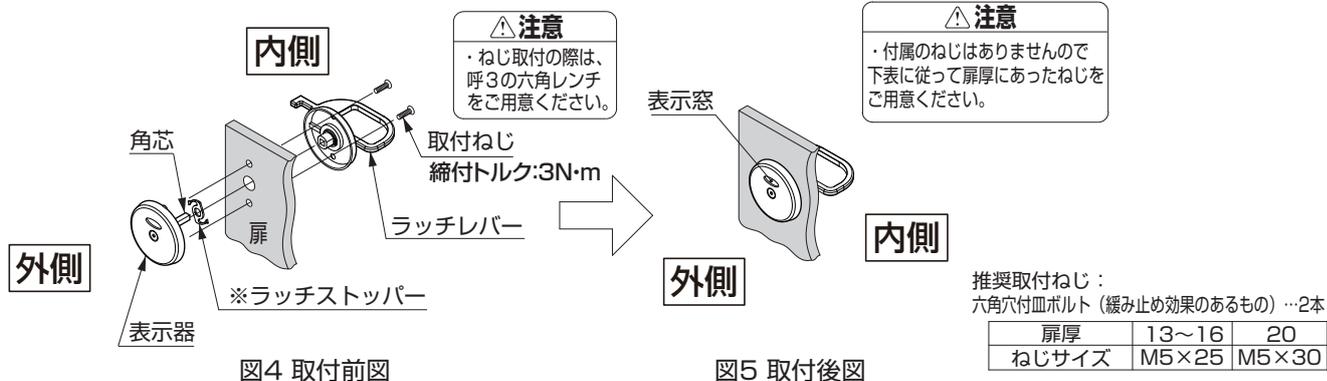


図4 取付前図

図5 取付後図

手順3 手順1の図3の位置にストライクとSボックスを取付ける穴加工をします。この作業は必ず現場で行なってください。図6のようにSボックス、ストライクの順に取付穴にセットし、取付ねじにて固定してください。

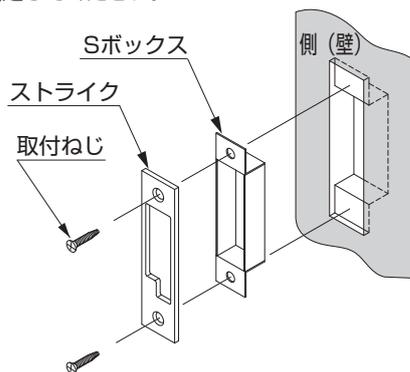


図6 ストライク取付図

△ 注意

・ストライク取付穴加工は必ず現場で行なってください。正常に機能しなくなる事があります。

推奨取付ねじ：
十字穴付皿木ねじ 3.8×20
(ステンレス) …2本

非常時の解錠方法

表示器の六角穴にレンチ呼び3を差し込んで解錠してください。

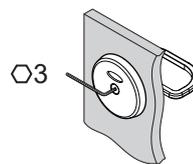
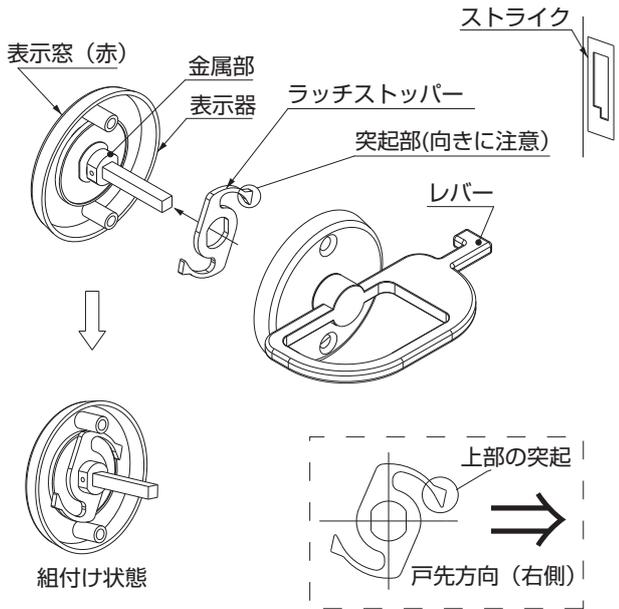


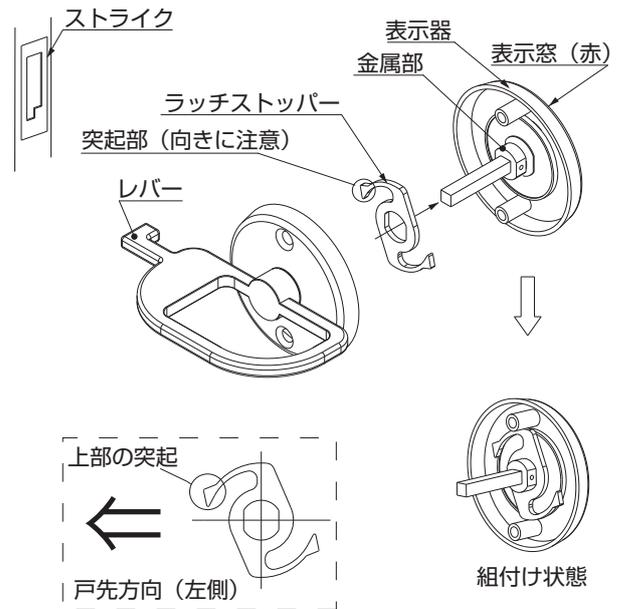
図7 非常解錠図

ラッチストッパー 取付方法

図A.右ロック仕様



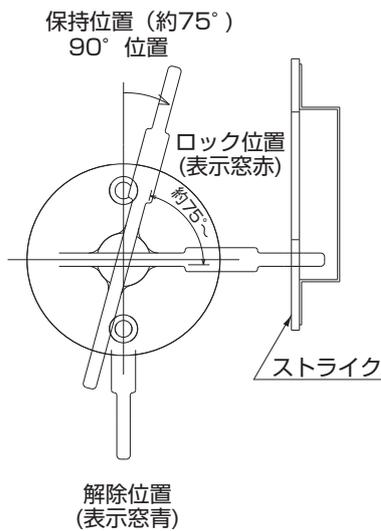
図B.左ロック仕様



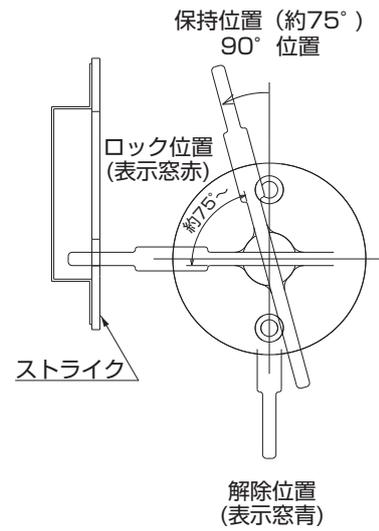
レバー保持位置確認

- ・図C、Dは右ロック・左ロックそれぞれのレバー保持位置を示しています。90°位置からロック位置(0°位置)方向にレバーを倒した際、保持位置(約75°)でレバーが保持される事を確認してください。
- ・解除位置に近い位置でレバー保持する場合は、ラッチストッパーの向きが逆なので、図AまたはBに従い付け直してください。

図C.右ロック仕様



図D.左ロック仕様



本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2024.01 0116-4j